

春の全国中学生ハンドボール選手権大会氷見市実行委員会とヒュンメルが

第16回から第20回大会までの春の全国中学生ハンドボール選手権大会のパートナーに

2月にデンマークのスポーツブランド「hummel（ヒュンメル）」と第10回から第15回大会までのパートナー契約を更新しました。

ヒュンメルはこれまでに氷見市が舞台のハンドボール漫画「送球ボーイズ」とのコラボやデンマークから世界トップレベルのコーチを招聘するなど、大会への盛り上がりや中学生ハンドボーラーに世界レベルの体験をしてもらう取り組みをされてきました。

また、IHF（国際ハンドボール連盟）やEHF（ヨーロッパハンドボール連盟）のオフィシャルパートナーであり、2020年12月からJHA（日本ハンドボール協会）のアンダーカテゴリーとも契約され、「春中」同様、ジュニア、ユース世代を盛り上げておられます。

日本でヒュンメルを展開する株式会社エスエスケイ代表取締役社長 佐々木 恭一氏のコメント

昨年の日本ハンドボール協会のアンダーカテゴリーと結んだパートナーシップを機に、ハンドボールの更なる普及、振興に取り組んでいきたいと思っています。春中ハンドは、学校やクラブチームの垣根なく、中学生ハンドボーラーが大会に向け磨いてきた技術とチーム力を発揮し競い合う素晴らしい大会です。昨年はコロナ渦により大会が中止となり、悔しい思いをされた選手も多いと思いますが、今大会は2年分の想いを込めた大会として、氷見市と協働し本年度の春中ハンドを盛り上げ、ハンドボールの成長を共にしたいと考えております。

氷見市実行委員会 会長 氷見市長 林 正 之のコメント

国際ハンドボール連盟のオフィシャルパートナーである株式会社エスエスケイ/ヒュンメルと再びオフィシャルパートナー契約を締結させていただきました。これまで展開されてきた本大会の貢献度は大きいものがあり、第20回大会までの継続開催を決定した氷見市にとって大変に心強く、更なるご協力、ご支援をお願いするものであります。「春は氷見へ」が定着しているこの大会が中学生ハンドボーラーが憧れる大会に成長していくように、ヒュンメルとともに精一杯、大会運営をしていきます。

ヒュンメルは令和3年3月25日から行う大会では、各種記念グッズを作成、販売されるほか、男女優勝チームへのオリジナル優勝ワッペン入りユニホームの贈呈があります。